

☆☆☆先生が紹介する「人生に影響を与えた本」☆☆☆

1冊の本との出会いが、その後の人生を変えることもあります。
先生方から山商生に向けて、先生の「人生に影響を与えた本」を紹介します。
あなたも、人生を変えるような1冊に出会ってくださいね。
紹介した本は、図書館で借りることができます。ぜひ、どうぞ。



広島校長先生に影響を与えた本

本校図書館にある本の中から、ぜひとも高校生に読んで欲しい本を紹介します。

『わたしはマララ』 マララ・ユスフザイ 著（学研パブリッシング）

『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』

マララ・ユスフザイ 著（岩崎書店）

パキスタン人マララ・ユスフザイさんは、学校で勉強する権利を主張し続け、瀕死の重傷を負いながらもそれに屈することなく、強い意志を持って信念を貫き通します。皆さんも小中学校の時に読んだ人もいるのではないのでしょうか。

同世代の皆さんが、当時のマララさんの信念や行動力、人権に対する思いなどを知り、今後「世のため、人のために、自分は何ができるのか」を考える一冊となればと思います。

奥田教頭先生に影響を与えた本

『ゼロ- なにもない自分に小さなイチを足していく-』

堀江貴文 著（ダイヤモンド社）

ホリエモンこと堀江貴文（著者）さんと親しいLINEの関係者とよく一緒に話をすることがあり、当時著者がメディアを騒がせた事件にはじまり最近の活動に至るまで様々なエピソードを含め聞かせていただきました。その内容が当時の報道により自分が著者に対してイメージしたものと大きく違っていたため、今回の本書を読むきっかけとなりました。

本書では、著者が幼少の頃から現在に至るまで弱みも強みも含めありのままの自分を晒しており、著者に対して描いていたイメージが改めて変わるものとなりました。また、子供の頃の話が多く書かれており、こんな生徒が目の前にいたら自分だったらどう接しているのだろうかと思いつつ読み進め、最後には、著者の圧倒的な行動力が感じさせられる本書となりました。

田中先生に影響を与えた本

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない』 岡田磨里 著（KADOKAWA）

少し前に映画化されたアニメで、小説にもなっています。ふと聞き覚えがあったので読んでしまいましたが、すごく感動します！主人公の男の子が幼い頃好きだった子が川で溺れて死んでしまう話です。高校になって、その子の幽霊が自分にだけ見え、物語が進んでいきます。結果はネタバレになってしまうので書きませんが、是非読んでください！！

山口先生に影響を与えた本

『アガサクリスティの本』

小説を読むなら推理小説か歴史小説なのですが、その推理小説を読むきっかけとなったのが小学生の高学年ぐらいで読んだアガサクリスティの「名探偵ポワロシリーズ」です。

当時は映画もやっていた記憶があります。何年もクリスティの作品は読んでいませんが、最近クリスティのオマージュ作品である「カササギ殺人事件」を読みました。皆さんもあまり深く考えず楽しく読める推理小説を読んでみてはいかがでしょうか。

藤本敬典先生に影響を与えた本

『怪物狩り』

小塚拓也 著（地球丸）

進路指導部の藤本です。私が紹介するのは、小塚拓也という釣り人が書いた、「怪物狩り」という本です。彼は18歳から24歳までの間に、のべ453日をかけて23カ国を渡り歩き、世界最大の淡水魚であるピラルクをはじめ、「怪物」と言っている魚を次々と仕留めていきます。たった1匹の魚を獲るためにも彼は現地へ赴いて魚の習性を調べ、緻密に策を練り、現地の人とのネットワークを広げ、一歩々距離を詰めて行きます。釣り好きの人だけでなく、一人旅や冒険がしてみたいという人にも、わくわくしながら読める1冊です。自分は大人になってから（わりと最近）読んだので、1つの読み物として楽しみましたが、彼が冒険した当時の年齢に近い君たちなら、きっと様々な刺激を受けることでしょう。